

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】令和 4 年 1 月 11 日 (2022.1.11)

【公開番号】特開 2020-92394 (P2020-92394A)
【公開日】令和 2 年 6 月 11 日 (2020.6.11)
【年通号数】公開・登録公報 2020-023
【出願番号】特願 2018-230306 (P2018-230306)
【国際特許分類】

H 0 4 N 5/232 (2006.01)

H 0 4 N 7/18 (2006.01)

【F I】

H 0 4 N 5/232 3 0 0

H 0 4 N 7/18 E

H 0 4 N 5/232 0 3 0

H 0 4 N 5/232 9 9 0

H 0 4 N 5/232 9 6 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 12 月 3 日 (2021.12.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮像画像内に配信対象の画像領域として設定されたそれぞれの配信対象領域を個別に選択する選択手段と、

前記選択手段が選択した配信対象領域に対応する映像の配信フレームレートを設定する設定手段と

を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記設定手段は、前記選択手段が選択した配信対象領域に対してユーザ操作に応じて入力された配信フレームレートを、該配信対象領域に対応する映像の配信フレームレートとして設定することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記設定手段は、前記選択手段が選択した配信対象領域に対して入力可能な配信フレームレートの範囲を、前記選択手段が選択した配信対象領域内の動き量に応じて決定し、該決定した範囲をユーザに通知することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記設定手段は、前記それぞれの配信対象領域内の映像を配信する時間に基づいて、前記それぞれの配信対象領域に対応する映像の配信フレームレートを設定することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

前記設定手段は、前記それぞれの配信対象領域内の映像の動き量に基づいて、前記それぞれの配信対象領域に対応する映像の配信フレームレートを設定することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記設定手段は、映像を配信する配信対象領域を切り替えている間は、予め設定されている最大の配信フレームレートを設定することを特徴とする請求項 4 または 5 に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

前記設定手段は、前記撮像画像を撮像する装置のパン、チルト、ズームを変更する制御権をユーザが取得している間は、予め定められている最大の配信フレームレートを設定することを特徴とする請求項 4 乃至 6 の何れか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 8】

前記それぞれの配信対象領域は、撮像画像から切り出される画像領域であることを特徴とする請求項 1 乃至 7 の何れか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 9】

前記それぞれの配信対象領域は、撮像画像内の領域を撮像することで得られる撮像画像の画像領域であることを特徴とする請求項 1 乃至 7 の何れか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 10】

画像処理装置が行う画像処理方法であって、

前記画像処理装置の選択手段が、撮像画像内に配信対象の画像領域として設定されたそれぞれの配信対象領域を個別に選択する選択工程と、

前記画像処理装置の設定手段が、前記選択工程で選択した配信対象領域に対応する映像の配信フレームレートを設定する設定工程と

を備えることを特徴とする画像処理方法。

【請求項 11】

コンピュータを、請求項 1 乃至 9 の何れか 1 項に記載の画像処理装置の各手段として機能させるためのコンピュータプログラム。